

# 営農情報

第8号 平成25年1月7日



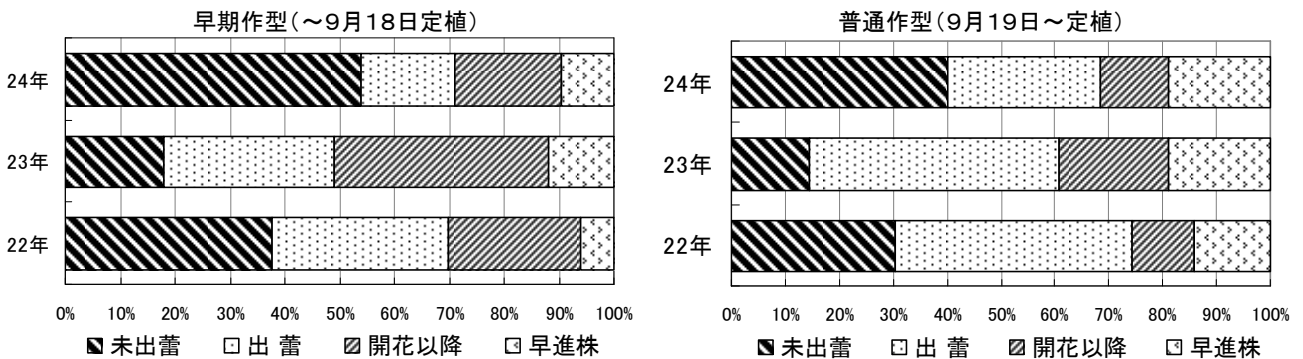
## 「あまおう」1月の管理

南筑後普及指導センター  
福岡大城農業協同組合

今年は11～12月にかけて気温が低かったため収穫が遅れており、現在、早期作型で7～8果、普通作型では1～2果収穫となっています。普通作型では早進株の多いほ場が散見されており、今後、着果負担の増加に伴う株疲れが懸念されますので、草勢を維持する管理をお願いします。

また、2番果房は、早期・普通作型ともに未出蕾が多く、過去2年に比べてやや遅れ気味の状況になっています（下図を参照）。現在の生育から考えると、2番果房の収穫は、早期作型では2月中～下旬、普通作型では3月上旬頃に増加すると予想されます。

1月は、気温が低く、日照時間が短いため、株が弱りやすくなります。高めの温度管理と長めの電照管理で草勢を維持し、2番果房の肥大促進と3番果房の早期出蕾を促しましょう。



年度別2番果房出蕾状況（南筑後普及指導センター管内：12月10～14日調査）

## ○温度管理

- ・ 2番果房の収穫開始までは、昼温（特に午前中）を高めに管理し、心葉の展開や果房生育を促進する。

### 【果房の生育状況別温度管理の目安】

	昼間	夜間	備考
1番果房収穫期間	20～24℃	5～7℃	収穫中は品質向上のため、やや低めの温度管理
1番果房収穫終了から2番果房収穫開始まで	24～26℃	5～7℃	2番果房の生育促進と、3番果房の出蕾を促すため高めの管理

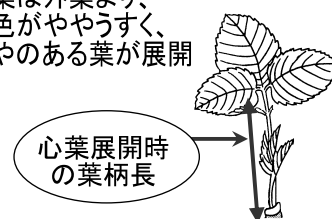
## ○電照管理

果房の連続性向上と収量増加のため、草勢が適正に維持できるように電照時間を調節して下さい。

- 電照時間の調節は、心葉の展開状況を観察し、株の着果状況や天候から今後の生育を予想して行う。
- 1月の電照時間は2～6時間の範囲で調節する。
- 厳寒期は、生育が旺盛な場合でも電照を完全に切らない。

### 【心葉展開時の葉柄長の測定】

心葉は外葉より、葉色がややうすく、つやのある葉が展開



わい化状態の心葉

### 【電照時間調節の目安】

	時間を長く	現状維持	時間を短く
心葉の葉柄長	8cm以下	9～11cm程度	12cm以上
心葉の色	濃緑色	緑色	黄緑色
果房の方向	45度以下	45度	45度以上
着果負担	増加	並	減少
予想気温	低温	並	高温

## ○かん水・肥培管理

- かん水は、地温を下げないように、出来るだけ晴天日の午前中に行う。
- 乾燥しすぎると生育が悪く、果実の肥大不足や3番果房の出蕾遅れを招く。
- かん水は定期的に行い、1回あたりのかん水量は少なく、回数を多くする。
- かん水の目安は、pF値1.7～1.8とする。
- 液肥は、株が弱らないよう定期的に施用する。
- 液肥の施用量は、窒素成分で1ヶ月あたり1～2kg/10aを目安とし、これを3～4回に分けて施用する。

1番と2番が離れた場合は、1番果房終了～2番果房着色期まで追肥しない。

## ○株整理

- 1番果房の果梗枝は、3番果房の出蕾を促進するため、収穫が終わり次第除去する。果梗枝が残っていると果実キズの発生や果梗枝折れの原因にもなる。
- 無駄な養分を使わないように、ランナーやどろ芽は除去する。
- 下葉は枯葉や黄化した葉のみを除去する。
- 葉陰などで果実に光が当たらないと黄種果が多くなるため玉だしする。
- 株整理は、収穫量の少ないうちに行っておく。

## ○摘果

- 早進株のように着果数が多い場合、株の負担が大きく矮化しやすいため、摘果を強めに行う。
- 2番果房の摘果は、3番果房の連続的な収穫を目的に行う。
- 摘果は、下表を目安に行う。

通常果梗: 3~5果/枝
かんざし果梗: 6~8果/枝



【 1枝当たりの着果数目安 】

## ○病害虫防除

ほ場によっては、ハダニやアブラムシの発生が見られます。また、灰色かび病や菌核病の発生が散見されてきましたので、防除対策の徹底をお願いします。

### ○ハダニ類

- 活動の衰える低温期に防除を徹底する（株整理の後が防除に最適）。
- 厳寒期に抑えておかないと2月以降に急増する。

### ○灰色かび病・菌核病

- 湿度が高いと発病しやすいため、出来るだけ換気を行う。
- 曇天降雨日などは、暖房機の送風や循環扇を活用する。
- 発病した葉や果実は速やかにハウス外に持ち出す。
- 定期的に予防防除を行う。

### ○うどんこ病

- 薬剤により定期的に予防防除を行う。
- 発病した葉や果実はハウス外に持ち出す。
- 電気加熱式くん煙器（スーパースモーキー等）は予防的に1～4時間使用する。
- イオウくん煙後は、4時間以上あけて炭酸ガス発生装置を稼動する。

**農薬の安全使用と飛散防止対策を徹底しましょう！**